



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 トーモク

上場取引所 東 札

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|-------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 115,890 | 6.8 | 3,887 | 6.5 | 4,161 | △0.5 | 2,527 | 29.9 |
| 29年3月期第3四半期 | 108,541 | 1.4 | 3,649 | 121.4 | 4,180 | 96.9 | 1,945 | 1.7 |

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,351百万円 (21.6%) 29年3月期第3四半期 2,755百万円 (5.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 154.62 | 141.38 |
| 29年3月期第3四半期 | 109.56 | — |

※平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 141,654 | 57,164 | 40.1 |
| 29年3月期 | 136,532 | 54,707 | 39.7 |

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 56,742百万円 29年3月期 54,245百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 3.00 | — | 4.00 | 7.00 |
| 30年3月期 | — | 3.00 | — | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 20.00 | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の期末1株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 162,000 | 6.5 | 7,700 | 5.5 | 8,000 | 1.7 | 4,600 | 1.7 | 281.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 30年3月期3Q | 19,341,568 株 | 29年3月期 | 19,341,568 株 |
| 30年3月期3Q | 2,994,364 株 | 29年3月期 | 2,990,974 株 |
| 30年3月期3Q | 16,349,245 株 | 29年3月期3Q | 17,755,230 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月23日開催の第78回定時株主総会において単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 4円00銭

2. 平成30年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 56円27銭

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移する中、設備投資は増加傾向が続き、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに増加しました。

その中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は115,890百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益は4,161百万円（同0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,527百万円（同29.9%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、国内経済が着実な改善傾向にある中、通販・宅配向けや食品向け等の需要増もあり、生産量は前年同期を上回る見通しであります。

当社グループの段ボール生産量は、前年同期を上回りました。

段ボールの売上高は、トーモクベトナム社の新規連結もあって64,683百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は、幅広くコスト削減を実施しましたが原材料価格の値上がりにより4,487百万円（同8.2%減）に留まりました。

〔住宅〕

住宅市場においては、雇用・所得環境の改善が継続するほか、政府の住宅取得支援策等により住宅取得への関心は底堅く推移しております。

スウェーデンハウス㈱は、「オリコン日本顧客満足度ランキング」で連続第1位の受賞を積極的に訴求するとともにZEH補助金対象企画商品「HUS ECO ZERO LIMITED EDITION」を改定し高級ブランドイメージの浸透に取り組むと同時に、新規規格商品「Hemma Bäst」（ヘンマ ベスト）等の商品戦略を通して販売強化に取り組んでおります。

売上高は、24,055百万円（前年同期比4.4%増）となりました。引き続き販売価額や利益率の改善に努めるとともにトータルコストの削減に努めました。売上が第4四半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあって、営業損失は1,322百万円（前年同期は営業損失1,800百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、好天の影響により飲料関係が順調に推移し、前期より開始した新規取引先の取扱が伸長し、売上高は27,151百万円（前年同期比25.8%増）となりました。今期開設したセンターの一時費用の発生や車両不足、ドライバー不足等による費用増加もありましたが内部コスト改善に努め、営業利益は1,300百万円（同19.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産や有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比5,121百万円増加の141,654百万円となりました。負債も流動負債その他の増加等により前連結会計年度末比2,664百万円増加の84,489百万円となり、純資産の部は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,457百万円増加の57,164百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績を踏まえ、平成29年5月8日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,452 | 9,064 |
| 受取手形及び売掛金 | 26,573 | 30,323 |
| たな卸資産 | 9,357 | 13,574 |
| その他 | 3,872 | 5,777 |
| 貸倒引当金 | △40 | △31 |
| 流動資産合計 | 56,216 | 58,708 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 25,644 | 26,480 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 13,976 | 14,872 |
| 土地 | 25,500 | 25,515 |
| その他(純額) | 1,785 | 2,030 |
| 有形固定資産合計 | 66,907 | 68,899 |
| 無形固定資産 | | |
| | 238 | 244 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,955 | 9,396 |
| その他 | 4,501 | 4,664 |
| 貸倒引当金 | △286 | △260 |
| 投資その他の資産合計 | 13,170 | 13,801 |
| 固定資産合計 | 80,316 | 82,945 |
| 資産合計 | 136,532 | 141,654 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,816 | 17,126 |
| 短期借入金 | 2,459 | 3,629 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,685 | 12,677 |
| 未払法人税等 | 1,933 | 278 |
| 賞与引当金 | 1,606 | 789 |
| その他の引当金 | 281 | 210 |
| その他 | 7,148 | 13,708 |
| 流動負債合計 | 37,932 | 48,420 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 3,000 | 3,000 |
| 長期借入金 | 31,055 | 23,114 |
| 退職給付に係る負債 | 3,718 | 3,794 |
| その他の引当金 | 650 | 574 |
| その他 | 5,468 | 5,584 |
| 固定負債合計 | 43,892 | 36,068 |
| 負債合計 | 81,825 | 84,489 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,669 | 13,669 |
| 資本剰余金 | 11,234 | 11,234 |
| 利益剰余金 | 30,365 | 32,132 |
| 自己株式 | △4,309 | △4,316 |
| 株主資本合計 | 50,961 | 52,720 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,892 | 3,536 |
| 繰延ヘッジ損益 | 52 | 69 |
| 為替換算調整勘定 | 22 | 89 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 316 | 326 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,284 | 4,021 |
| 非支配株主持分 | 462 | 422 |
| 純資産合計 | 54,707 | 57,164 |
| 負債純資産合計 | 136,532 | 141,654 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 108,541 | 115,890 |
| 売上原価 | 88,325 | 95,048 |
| 売上総利益 | 20,216 | 20,841 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,566 | 16,954 |
| 営業利益 | 3,649 | 3,887 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 158 | 158 |
| 持分法による投資利益 | 281 | - |
| 雑収入 | 359 | 419 |
| 営業外収益合計 | 799 | 577 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 106 | 118 |
| 固定資産賃貸費用 | 99 | 67 |
| 土地調査費用 | - | 77 |
| 雑損失 | 63 | 39 |
| 営業外費用合計 | 268 | 303 |
| 経常利益 | 4,180 | 4,161 |
| 特別利益 | | |
| 保険差益 | 360 | - |
| 投資有価証券売却益 | 15 | - |
| 特別利益合計 | 375 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 115 | 95 |
| 減損損失 | 1 | 22 |
| 投資有価証券売却損 | 136 | - |
| 子会社株式評価損 | 46 | - |
| 特別損失合計 | 299 | 118 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,256 | 4,043 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,312 | 1,689 |
| 法人税等調整額 | △131 | △253 |
| 法人税等合計 | 2,180 | 1,435 |
| 四半期純利益 | 2,075 | 2,607 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 130 | 79 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,945 | 2,527 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,075 | 2,607 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 567 | 645 |
| 繰延ヘッジ損益 | 82 | 16 |
| 為替換算調整勘定 | 18 | 72 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | 9 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 7 | - |
| その他の包括利益合計 | 679 | 744 |
| 四半期包括利益 | 2,755 | 3,351 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,634 | 3,265 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 120 | 85 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 段ボール | 住宅 | 運輸倉庫 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 63,920 | 23,043 | 21,577 | 108,541 | — | 108,541 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 256 | 8 | 3,168 | 3,433 | △3,433 | — |
| 計 | 64,177 | 23,052 | 24,745 | 111,975 | △3,433 | 108,541 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,886 | △1,800 | 1,086 | 4,172 | △522 | 3,649 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△522百万円には、セグメント間取引消去34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 段ボール | 住宅 | 運輸倉庫 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 64,683 | 24,055 | 27,151 | 115,890 | — | 115,890 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 245 | 4 | 3,253 | 3,503 | △3,503 | — |
| 計 | 64,928 | 24,060 | 30,404 | 119,393 | △3,503 | 115,890 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,487 | △1,322 | 1,300 | 4,464 | △577 | 3,887 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△577百万円には、セグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。